

幼稚園(シンポジウム)座談会と保育園(シンポジウム)座談会の違い

- ◆仲間やネットワークで選べる幼稚園
孤立しながら挫折しながら選ぶ保育園
- ◆家族の理解がなかなか得られない
- ◆一生のうちで貴重な育児休暇期間がほとんど入所
についての心配、不安で終わってしまう
- ◆入所前に、復帰後の不安の相談先がないこと
子どものこと・職場のこと・家族のこと
- ◆入れる入れないはともかく、選択肢が多い分、
「自分&子どもに合った」園を選ぶ視点が育つ
幼稚園選びと逆にその視点が狭まる保育園選び

職場復帰の方にひろばが機能する意味

⇒第2子産んだ後に、また気軽に戻ってくる場として


土曜日など休日も顔を出してくれる場として

地域に軸足を置ける場として

復帰後も応援し合える当事者同士の情報交換ができる場として

2008年度幼稚園保育園開園記念
「幼稚園を選ぶ前に・・・」
～聞いてみよう・話してみよう・考えてみよう～

幼稚園について知りたいこと、
疑問に思っていることを
これから園選びをする方や先輩お母さんと
座談会形式で話し合ってみませんか?
コーディネート：関東学院大学人間環境学部准教授 大豆生田啓友先生



日時：7月2日(月) 10:00～12:30
受付開始9:30

場所：港北区地域子育て支援拠点
港北区水産町758 TEL540-7420/FAX540-7421

定員：25組(要予約先着順)

参加費：1人500円

保育：1歳以上のお子さんは座談会中、別室で保育致します。
参加費の他に別途、保育費：500円(お子さん一人)必要。
保育申込みされた方は、9:30受付となります。
※1歳未満のお子さんは会場に同室となります。

キャンセルについて
保育申込み後のキャンセルは、必ず6/30(土)正午までにご連絡下さい。
それ以降のご連絡の場合には、保育費が確保されているため、保育費のキャンセルができません。
保育費のお金をお支払いいただくこととなります。ご了承下さい。

★事前申込の上、費用は当日お支払い下さい。

幼稚園座談会のお知らせ

親が選ぶ前に必要な視点

◆本当の意味で今「選ぶ」ことができるのか？

- ・・・保育・預かりに必要な視点を届ける情報が足りない
ノウハウや分かりやすさで判断せざるを得ない
現行のままで、選ぼうという意欲や選択肢があるのかどうか？

◆親が乳幼児期を一緒に過ごそうという気持ちをまずは十分に尊重できる社会か??

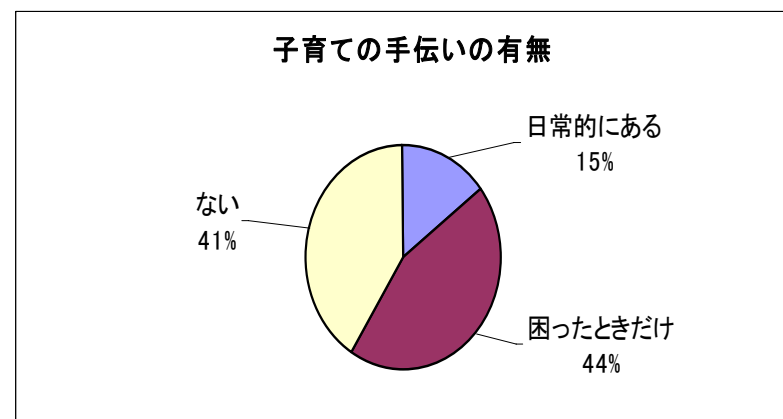
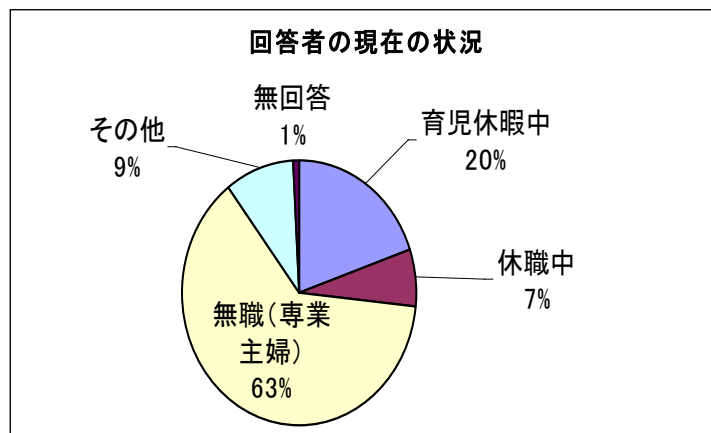
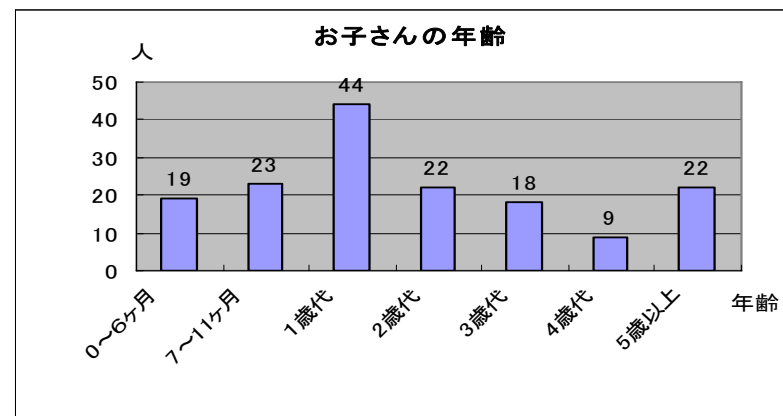
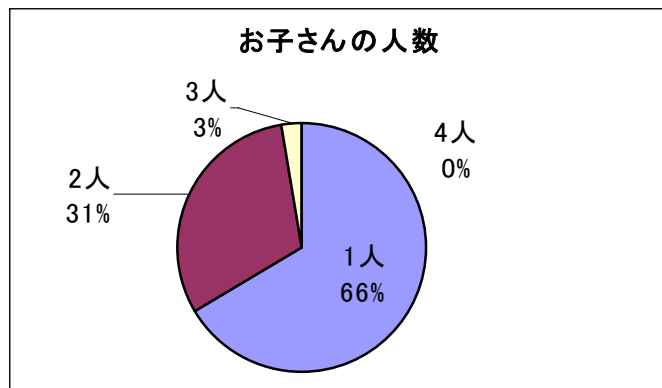
- ・・・預ける＝第三者に委ねざるを得ない育児の構造
都市型の子育て環境としては特異かも知れないが、入れる入れないの悲鳴によって、保育の質を「主体的に選ぼう」という段階にはまだ来ていない。
そういう中での市場化原理は子育て家庭のより孤立化を招く恐れがないか

⇒多様なニーズに対応するために全てが『保育園入所』だけを取り上げることが今、得策だろうか???

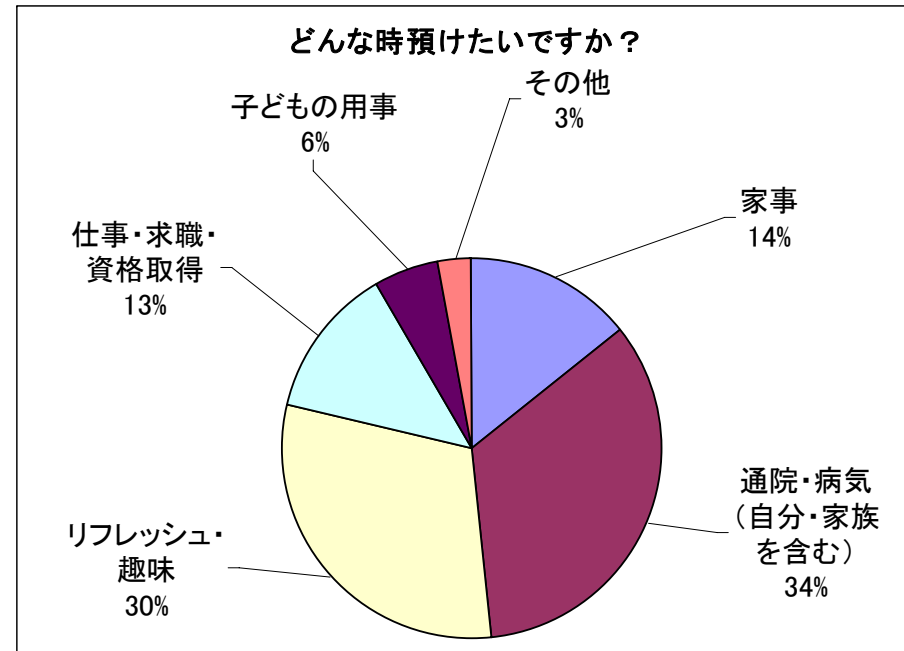
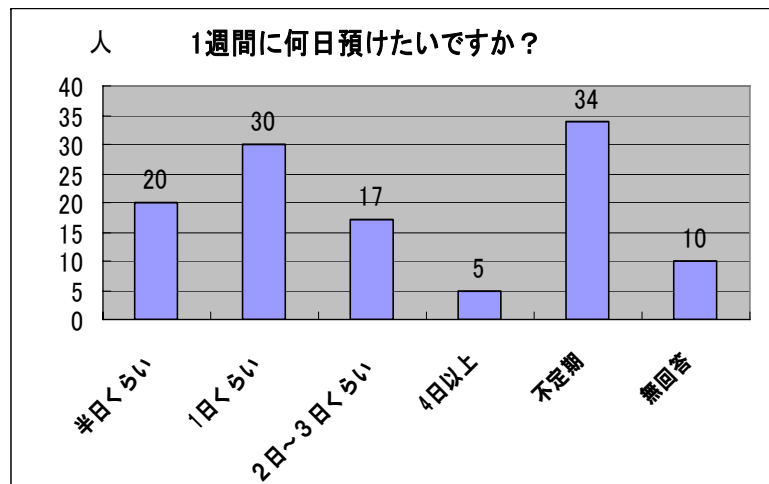
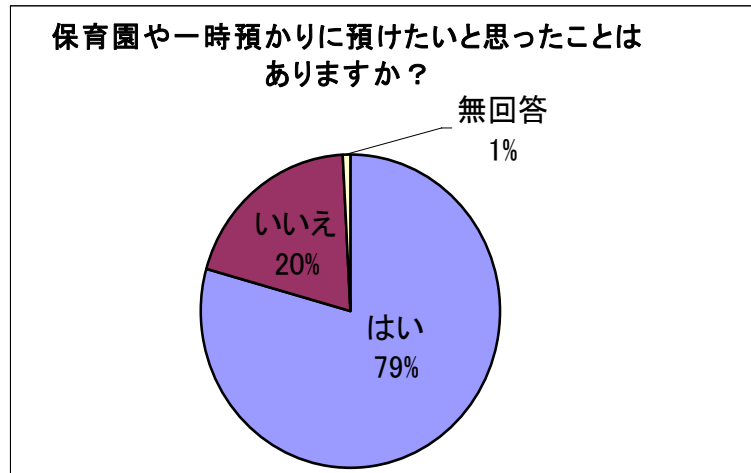
ひろばから見る保育への潜在的預かりへのニーズ分析 その①

保育・預かりへのニーズ調査(3日間のひろば活動での集計結果から 総数116枚回収)

【属性】



ひろばから見る保育への潜在的預かりへのニーズ分析 その②



育児期の親が希望する働き方

- ◆30歳～55歳(子年齢が1歳～小学校就学)まではパートが約半数であり、「短時間・残業免除」希望が多い。

1) 一時預かりについての預けたいという人が80%もいるにも関わらず、実際に使ったことのある人は15.6%(平成20年3月末のどろっぷひろば利用者アンケート結果より)。

⇒在宅子育て家庭にとってみたら「預ける」行為のハードルは高い

2) 子育ての負担感から預けたい(幼稚園児の年少3年保育への要望が毎年高くなってきている)・体力の限界

⇒地域でフラッと託せる・一預かりの場の面的整備の必要性

3) 「働きたい」ニーズの精査による保育サービスを決め細やかに整える

⇒フルタイムでの勤務希望・・・安心して預けられるまでのプロセスを

応援する仕組み 例)品川区の事例

⇒パート・不定期勤務希望・・・幼稚園の預かり保育や一時預かりでカバーすることはできないか？

実態から考えられる視点 ②

◆ 一時預かり事業・ファミリーサポート事業を含めた地域子育て支援メニューの充実を図ることで、「保育所入所を希望する」いわゆる「待機児児童」「潜在的ニーズ」を軽減することは可能ではないか！？段階的な保育ニーズの掘り起こしが必要では？

◆ 契約化を十分な利用者保護のもとに実行すること

(介護保険制度や支援費制度と同じ道をたどるとすると・・・！？)

- ・実行のための計画的整備
- ・情報提供と相談支援
- ・苦情解決の仕組みの整備
- ・サービス提供機関の育成と専門職の養成 労働条件の改善
- ・利用者参加のシステムを築く など・・・

間接的支援を実施する必要性が発生＝総合的な行政責任が重しとなる可能性は？

ケアマネジメント体制の整備は問われないか？

最後に・・・

地域に軸足を置きながら、保育を含めた

すべての子育て家庭への基盤整備の時期ではないか？

- ★子どもの育ち
- ★生活保障
- ★家族状況
- ★ワークライフバランス、生涯設計の尊重
- ★親としての働く意欲、スキルの活用、社会参加
- ★親の子育てする権利
したい権利

ニーズ

×

- ★産後ヘルパー
- ★ファミリーサポート
- ★保育ママ
- ★幼稚園
- ★保育園
- ★プレ幼稚園
- ★幼保一体園
- ★緊急サポート
- ★一時保育
- ★グループ保育 他

受入体制・支援サービス形態

×

- 財源
- 機会均等
(公平性)
- 地域特性
- 将来予測

将来的に誰がこの仕組みを支えていくのか！？

保育・預かりへのニーズ調査 記述部分詳細

アンケート記述式部分の抜粋

◆（育児休暇中の方に）復帰にあたっての課題があればご自由にお書き下さい

- ・ 保育園に空きがない
- ・ 4月の入園はフルタイムでも厳しい（特に0才児と1才児）
- ・ 自分や夫が病気の時、対応できるかどうか
- ・ 認可保育園の基準が低い（園庭がないなど）
- ・ 一時預かりの予約が困難
- ・ 保育園が少ない
- ・ 保育園選び
- ・ 子どもの送り迎え（保育園、小学校）
- ・ フルタイムではなく 働く時間の軽減が出来るかどうか
- ・ 子どもが伝染性の病気に罹った時の対応
- ・ お迎えに夫が行けない
- ・ 育児と仕事の両立と、保育園への信頼
- ・ 入園時期に合わせて 復帰を早めなければならず損
- ・ 子育ては予定通りにいかないため、子どもが病気の際 仕事の時間が守れるか心配
- ・ 入園の空きがないため きょうだいと同じ保育園に入れるか不安
- ・ 年度の途中から入園が可能かどうか
- ・ 短時間勤務制度の実現が望ましい

◆（全員に）子育て中でどんな時が大変だと感じられますか？ご自由にお書き下さい

『自分ひとりで子育てを担い、逃げ場がない』

- ・ 病気の時に 夫の仕事が忙しい時
- ・ 入院した時、病気でなくても疲れがひどく動けなくて 一人で寝たい時
- ・ 子どもと二人きりの時間が一日の大半を占め 逃げ場がない
- ・ 夫は朝早く、帰日も遅い。子どもと顔を合わせるのは日曜の休みだけなので 子どもが夫になれず 息抜きできない
- ・ 夫の理解がない
- ・ 大人同士の会話が減り 孤独感を感じる
- ・ 24時間べったり一緒だと ホッとする時間が持てない
- ・ 自分の体調が悪い時でも 育児は休めない
- ・ 周囲に頼れる人がいないので、急な用事（通院など）に預ける先がない
- ・ 夫の帰りが遅いので、一人で世話をしなければならぬ
- ・ 一緒に居すぎて 余裕がある状態とはいかず、自身が不本意なまま子どもにあたってしまう
- ・ 妊娠中、子どもを一人で風呂に入れないといけない
- ・ 実家が遠く、イザという時 頼れる人がいない
- ・ 上の子どもと下の子が同時に甘えてくる時
- ・ 朝と夕方は 忙しすぎて目が回る
- ・ 疲れがとれにくく 休息がまとめでとれない
- ・ この大変さがいつまで続くのだろうか・・・
- ・ 自分が精神的にも 肉体的にも辛い時に頼れる人がいない

- ・自分の時間が全くない
- ・妊娠中でお腹が大きいため、上の子を連れての行動は辛い
- ・2人目が産まれ まだ自分が思うように動けない時、上の子が遊びたがり
悩んだ
- ・授乳期間中、ひきこもりがちになった
- ・子どもと友人の関係でトラブルが起きた時
- ・親身になって相談にのってくれる方がいたら良いなと思う
- ・子育てがこんなに大変だとは思わなかった。仕事のほうが頑張っただけの成果もあり
効率よく片付けられる。仕事のほうが楽に思う・親が体調不良の際、子どもが一人で
遊ばなければならず かわいそうに思う

『子どもが手におえない』

- ・買い物がつくりできない
- ・家事などで手が離せない時に 子どもがぐずった時
- ・子どもが何事にも「イヤ」と言う時
- ・子どもを寝かしつける時
- ・公共の場で 大泣きされた時
- ・ママ以外の人に泣く事
- ・子どもが手に負えない程ぐずった時や、子どもの気持ちを分かってあげられない時
- ・夜中に泣いて 全く寝てくれない時
- ・子どもの体調が悪い時は 何日も外出が出来ない
- ・雨で公園に行けず、一日中 子どもと家の中に居る時
- ・まだ物事の分別がつかず 言葉も通じないため、四六時中 見ていなければならぬ
- ・外遊びなど 体力がついていけない
- ・子どもが夜中起きてしまった時、自分も眠れない

『子育ての環境について』

- ・子連れで出かける場所が少ない
- ・夫以外 話し相手がない
- ・産後、上の子を保育園に預けたかったが 空きがなかった
- ・アパートの階段を3階まで上がる時
- ・南武線がいつも混んでいて ペーターカーで乗れない
- ・川崎駅にエレベーターを設置して欲しい
- ・一時預かりを気軽に安価で いつも利用できるようにして欲しい
- ・安心して遊ばせる公園が近所がない
- ・子育てには お金がかかる
- ・お友達作り
- ・保育園に入れるかどうか、信頼して預けられる保育園があるのか、仕事との
両立ができるのだろうか
- ・一時預かり専門の保育園が欲しい。「一時預かりしています」といっても
実際は やってなかったり 入れない所が多い
- ・気軽に預ける所があれば もっと子どもを産んでも良いかと思う
(できれば保育料1時間1000円以下、行政の補助も欲しい)
- ・正社員として働いても時間短縮の場合、二人預けると保育料が高すぎて
何の為に働いているのかと思ってしまう。パートのほうが良いのかも
- ・転勤などの引越して 新しい土地に行った時の情報収集(幼稚園、学校、医療関係)